

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)伏見区堀詰町計画	階数	地上5F
建設地	京都府京都市伏見区堀詰町547番1	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域、15M第3種	平均居住人員	168人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年2月	評価の実施日	2014年2月13日
敷地面積	1,738㎡	作成者	株式会社東洋設計事務所 吉田 友
建築面積	1,043㎡	確認日	2014年2月14日
延床面積	4,035㎡	確認者	〇〇〇



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%

②建築物の取組み 71%

③上記+②以外の 71%

④上記+ 71%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.2

音環境 3.0, 温熱環境 2.7, 光・視環境 3.5, 空気質環境 3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

機能性 2.5, 耐用性 3.1, 対応性 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.4

生物環境 3.0, まちなみ 4.0, 地域性 3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.7

建物の 3.0, 自然エネ 3.0, 設備システム 4.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

水資源 3.0, 非再生材料の 3.1, 汚染物質 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

地球温暖化 4.1, 地域環境 3.0, 周辺環境 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	太陽光発電やエコジョーズの採用、植栽を河川や道路沿いにバランスよく配置するなど地域環境および周辺環境への配慮を行った	その他 0
Q1 室内環境	内装の仕上げにF☆☆☆☆を採用し、化学物質の発生に配慮した共用部(エントランスホール)、専有部ともに光を多く取り入れるよう配慮した	Q3 室外環境(敷地内) 植栽を沿道に配置し、周辺のまちなみにあうよう建物外壁の色にも配慮した
Q2 サービス性能	主要内装仕上げ材や空調給排水配管の更新必要間隔、躯体の材料の耐用年数が長くなるよう配慮した	LR3 敷地外環境 自転車置場や駐車スペースを適正に確保し、地域インフラへの負荷抑制に努めた
LR1 エネルギー	太陽光発電やエコジョーズを採用し、設備システムの高効率化に努めた	
LR2 資源・マテリアル	ノンフロン断熱材を使用し、躯体と仕上げ材が容易に分別できるように配慮した	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される